

BIOMOD：国際生体分子デザインコンテストとは、米国ハーバード大学主催による、今年初開催の「**分子を設計して、ナノ～マイクロメートルでモノづくりをする**」国際学生コンテストのことです。11月に行われる世界大会では、出場した**世界11カ国・27チーム**がボストンで一同に会し、それぞれが夏～秋に創り上げたプロジェクトの成果を持ち寄って、優劣を映像やプレゼンなどで競います。

日本からは学部生を中心とした3グループが**東京・関西・仙台**から出場、それぞれ創意工夫をこらした分子のデバイスをつくります。とくに、関西、仙台、そしてデンマークの3チームは**世界初の国際分子ロボットコンテスト（分子ロボコン）**部門を提案、ナノの世界で動きまわるロボットを設計・作製します。本ミーティングはその中間発表、これから各チームがどのようなプロジェクトを遂行していくか、初お披露目の場となります。

アクセス+連絡先

開催日時・場所

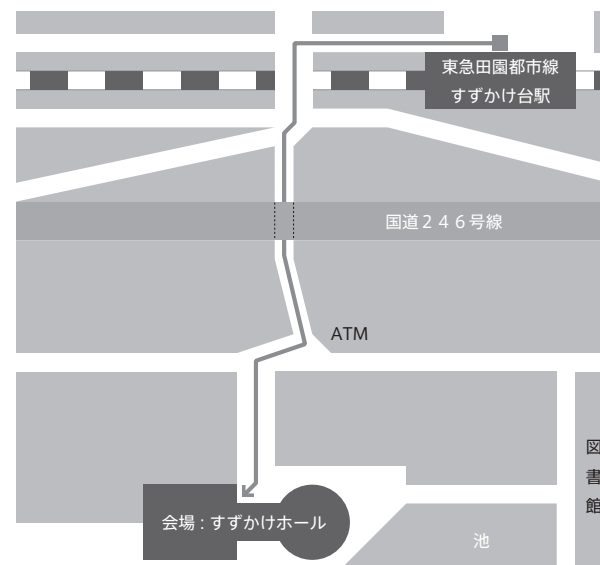
2011年8月26日(金)

13:00 (開場) -14:30 (ディスカッション・懇親会は 20:00まで)

東京工業大学すずかけ台キャンパス・すずかけホール

東急田園都市線すずかけ台駅下車徒歩5分

<http://www.titech.ac.jp/about/campus/s.html>



お問い合わせ先

本中間発表会について

瀧ノ上正浩（東京チームメンター代表）

東京工業大学大学院総合理工学研究科

知能システム科学専攻 講師

takinoue@dis.titech.ac.jp

BIOMOD & 日本チームについて

浜田省吾（BIOMOD日本チーム世話人）

東北大学工学研究科バイオロボティクス専攻 助教

hamada@molbot.mech.tohoku.ac.jp

チームスポンサー

RIBM 株式会社 生体分子計測研究所
Research Institute of Biomolecule Metrology Co., Ltd.

www.ribm.co.jp

BIOMOD2011

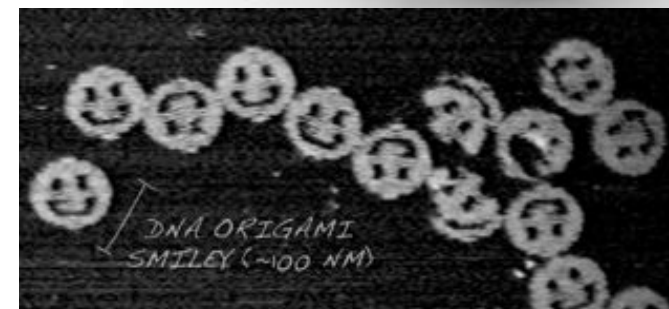
International Biomolecular Design Competition

TeamJapan Midterm Meeting

国際生体分子デザインコンテスト 日本チーム中間発表会

後援 株式会社 生体分子計測研究所

**分子で回路・機械・ロボットをつくり
世界に挑戦！**



主催



分子ロボティクス研究会
<http://molbot.org>

スケジュール+

チーム紹介

スケジュール

司会：瀧ノ上正浩（東京工業大学）

13:00	開場
13:30	開会のあいさつ 村田 智（分子ロボティクス研究会主査・東北大学）
13:35	BIOMODとは（全体説明） 浜田省吾（東北大学）
13:50	日本チームプレゼンテーション 各グループ7分間（日本語）+ 質疑応答 [全体] 10分間
14:21	休憩（9分）
14:30	特別参加チームプレゼン：iGEM Tokyo Tech
15:00	ディスカッション 東京グループ
16:00	関西グループ
17:00	仙台グループ
18:00	懇親会（すずかけホール）
20:00	閉会

— 公開セッション — 内部セッション（研究会）

プレゼンテーション

各チームが翌月提出する予定のプロジェクト要旨の原案を配り、それをもとにそれぞれ7分間のプロジェクト紹介と全体の質疑応答を日本語で行います。（各グループは要旨原案とスライドを用意してください。）

ディスカッション

はじめの10分は英語でのプレゼン練習、残りの時間で詳細な内容について、日本語での質疑応答と議論を行います。全員にアンケート用紙を配り、グループ間で評価しあいます。（集計結果はWikiにアップします。）

チーム紹介



仙台グループ

私たち仙台チームは、まったくの無知の状態からのスタートでしたが、ナノスケールでの戦いに勝利するために日々努力しています。皆で考えたアイデアを、身に付けた知識と技術で現実のものとし、実り多きプロジェクトにしたいと思っています。



関西グループ

DNAの設計も英語のプレゼンテーションもまだまだ手探りですが、関西パワーを世界にアピールできるように頑張ります!!

東京グループ

私たち東京チームは、ぶっ飛んだことがやりたいというコンセプトのもと、プロジェクトを立ち上げました。メンバーは皆、科学界のフロントランナーになりたいという人ばかりです。私たちの頑張りや、コンテスト優勝だけでなく科学界全体への貢献となれるように頑張りたいと思います。

分子ロボティクス研究会とは
分子ロボティクス研究会は、2010年3月に計測自動制御学会(SICE)・部門の調査研究会として発足しました。「設計した分子の組合せにより自律的なシステムを構築する方法論（＝分子ロボティクス）」に関する研究を行っています。
本研究会の目的は、
・ 物理、生物、化学、システム、情報など、複数分野の研

究者同士のコラボレーションを促進すること
・ 国内における分子ロボティクス関連の発表の場を提供すること
・ 分子ロボティクスに関する啓蒙、認知度UP
・ 当該分野の若手の育成、ネットワークづくり
などです。

TeamJapan Wikiにて最新情報公開中！

<http://www.molbot.mech.tohoku.ac.jp/groups/biomodjapan2011/>
User: biomod-visitor PW: molbotbiomod

